調査に関する事前評価済(R3)

令和6年度 公共事業事前評価調書(簡易型)

(区分) (国補 県単 1. 事業説明シート 事業名 道路事業[県道橋りょう改築費(国補)] 事業簡所 都留市大幡 地区名 (一) 大幡初狩線(大幡工区) 事業主体 山梨県 (1)事業の概要 (3) 事業の妥当性評価 妥当 妥当でない ①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) 1)課題・背景 ・本路線は、都留圏域と大月圏域を結ぶ幹線道路であり、社会的受益は大きく極めて 本路線は、都留市大野から大月市初狩町に至る全長約4.6kmの道路である。 当該区間は、国道20号から県道高畑谷村停車場線へのアクセス道路としても機 公共性が高い。 能しており交通量も多い。峠より都留市側に下る区間は縦断勾配が急で連続し ②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) たカーブとなっており、見通しも非常に悪い。また峠より県道までの交差点ま ・県道の改築であり、道路法第15条により、県が行うべき事業である。 では道路幅員が狭小で、大型車両の通行も多くみられ危険な状態となっている ため、早急な道路整備が望まれている。 ②整備目標・効果 ③経済妥当性 0 □主要目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上 総事業費 R7~R13 基準年 850 百万円 工期 R6 • 道路改良率: 25%(R6現況表) <65% ※ 費用 667 百万円 便益 1,086 百万円 経 建設費 ・混雑時走行速度:34.1km/h(R3センサス) >30km/h以下 ※ 649 百万円 走行時間短縮 891 百万円 済 ※評価基準値 維持管理費 18 百万円 走行経費減少 172 百万円 効 交通事故減少 4 百万円 率 その他※ 性 19 百万円 B/C □副次目標 ○歩行者等の安全性の確保 1.6 ・自動車交通量: 2,842台/12h(R3t)が) <3,340台/12h(平日)以上※ ※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益 • 通学路の指定:指定あり(宝小学校) 費用便益比(B/C)は、国の採択基準1.0を超えている。 ・現況の歩道幅員:歩道なし<1.4m未満※ ※評価基準値 ④事業実施・規模の妥当性 \circ ・当該筒所は未改良区間であり、実施規模は妥当である。 □副次効果 ○アクセス機能の維持 ⑤整備手法の有効性 集落と集落を結ぶアクセス道路であり、通行止めで迂回に2倍 ・現道拡幅は、人家連たんした沿線への影響が大きいため必要最小限とし、経済性に 以上の時間が必要となる道路 優れた計画とした。 (2)整備内容 ⑥環境負荷等への配慮 0 ①整備内容 道路改良L=420m W=6.0 (13.0) m ・設計にあたっては、良好な自然環境の確保に十分配慮する。 ②着手年度 令和7年度 **③完成見込年度** 令和15年度 ⑦事業計画の熟度 \bigcirc 4)総事業費 約850百万円(国費467.5百万円(5.5/10)県費382.5百万円(4.5/10)) 地元から早期整備の要望あり ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和7年度 測量・設計、用地測量 30 百万円 総合評価 [貢献度ランク: b] 令和8年度 (4) 事業位置図等 用地補償 60 百万円 令和9年度 用地補償•道路改良工事 160 百万円 大儀山金井トンネル (507) L=344.0 W=6.0 H=4.5 道路改良 令和10年度 用地補償·道路改良工事 200 百万円 Sg一之橋 L=46.5 W=7.0 L=420m W=6.0(13.0)m 令和11~14年度 道路改良工事 四日市場 340 百万円 落合沢人 新院辺橋 令和15年度 舗装工事 60 百万円 新江戸川橋 中津森 上岩崎 中津森の3 下岩崎 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

St院辺橋

つる三丁自

南山

都留市役所

城の腰

都留市駅西

H=3.9

鍛冶屋坂隧道

向高畑谷村(停)線

新丹沢川橋

W=11.0

Sg千代川橋

500

凡例

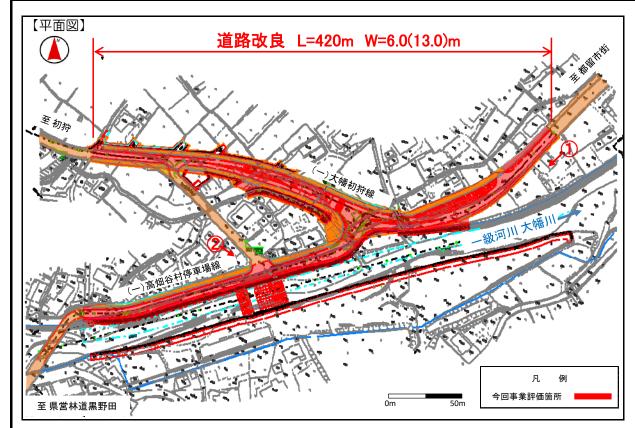
今回事業評価箇所

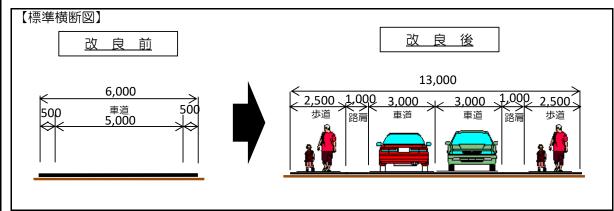
1000

⑥既整備内容・期間・事業費

なし

2.添付資料シート





【写真①】



起点側の状況

(幅員が狭いため、すれ違い時にグリーンベルトを踏んでしまう)

【写真②】



交差点部の状況 (左折時に対向車線にはみ出す)